

朝来市景況調査書

令和3年 第1四半期

(調査対象：令和3年4月～6月)

朝来市商工会

令和3年7月

【目次】

1. 景況調査について.....	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）	4
3. 業種ごとの集計	5
①建設業（有効調査書数：23件）	5
②製造業（有効調査書数：46件）	7
③小売業（有効調査書数：46件）	10
④サービス業（有効調査書数：78件（内、飲食店：26件、宿泊業6件））	13
（参考文献）	19

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

(対象期間(R3. 4~6 月)における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	210 件	213 件	80 件	93 件
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	87 件	83 件	79 件	152 件
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	23 件	46 件	46 件	78 件

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて集計しています。

◆令和3年度調査からの変更点◆

<①実施時期について>

令和2年まで、朝来市内の景況調査は1年間に「上期(1月～3月)」、「下期(7月～9月)」の計2回実施しておりましたが、令和3年度より四半期ごとに実施いたします。

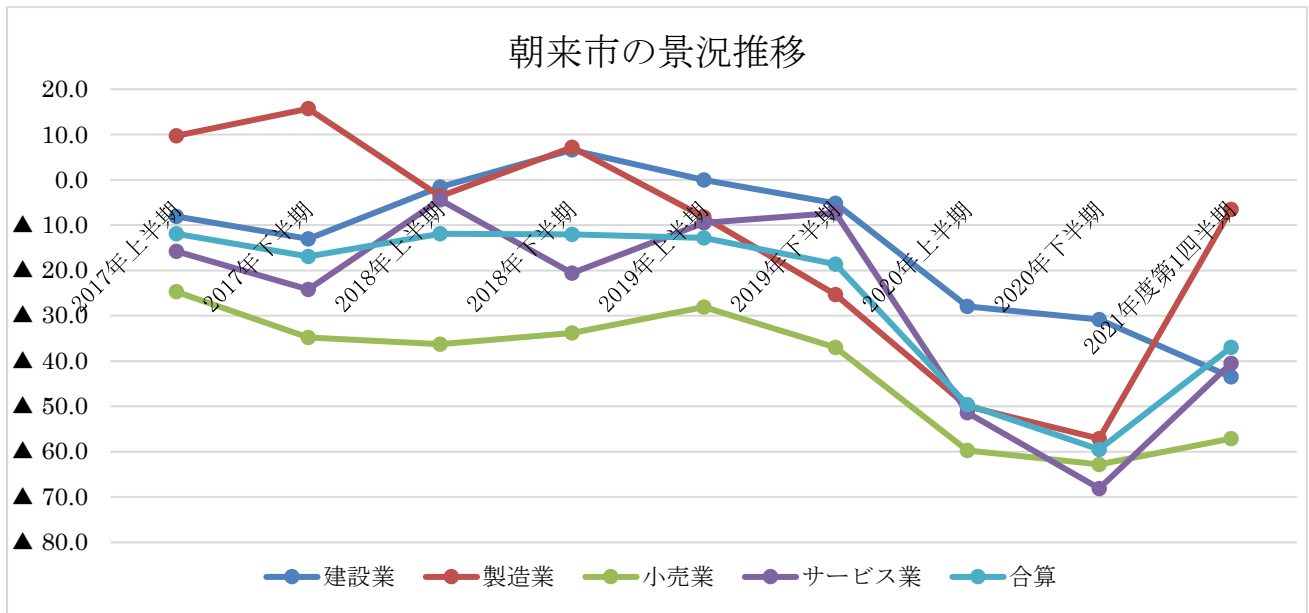
<②サービス業の区分>

今年度よりサービス業全体に加えて、「飲食店のみ」、「宿泊業のみ」のD.I.値も計算しております。詳しくは「サービス業」の調査結果ページにてご確認ください。

<③部門ごとのD.I.値>

製造業、卸売・小売業についてもサービス業と同様、複数回答を得られた業種から、細かく分類しD.I.値を掲載しています。

2. 朝来市の景況推移



	2018年 下半期 (H30. 7～9月)	2019年 上半期 (H31. 1～3月)	2019年 下半期 (R1. 7～9月)	2020年 上半期 (R2. 1～3月)	2020年 下半期 (R2. 7～9月)	2021年度 第一四半期 (R3. 4～6月)
建設業	6.6 (61件)	0.0 (51件)	▲ 5.2 (58件)	▲ 27.9 (48件)	▲ 30.8 (39件)	▲ 43.5 (23件)
製造業	7.2 (69件)	▲ 8.2 (61件)	▲ 25.3 (79件)	▲ 50.0 (53件)	▲ 57.1 (64件)	▲ 66.5 (46件)
小売業	▲ 33.8 (71件)	▲ 28.1 (89件)	▲ 37.0 (81件)	▲ 59.7 (78件)	▲ 62.8 (81件)	▲ 54.3 (46件)
サービス業	▲ 20.6 (107件)	▲ 9.5 (126件)	▲ 7.3 (110件)	▲ 51.4 (125件)	▲ 68.1 (120件)	▲ 42.3 (78件)
合算	▲ 12.0 (308件)	▲ 12.8 (308件)	▲ 18.6 (328件)	▲ 49.6 (304件)	▲ 59.5 (304件)	▲ 36.8 (196件)

(※回答数 197 件、内 1 件は社名・業種未記入のため計上せず)

直近 6 回の調査における「業況 (自業種の景気動向)」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値は D. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

新型コロナウイルス感染症が日本経済に影響を与え始めてから約 1 年が経過しました。国内で感染が確認され、景気低迷を見せていた令和 2 年 1 月～3 月期と比較し、製造業は上向きとなったものの、多くの業種で厳しい状況が続いています。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：23件）

○昨年(4～6月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

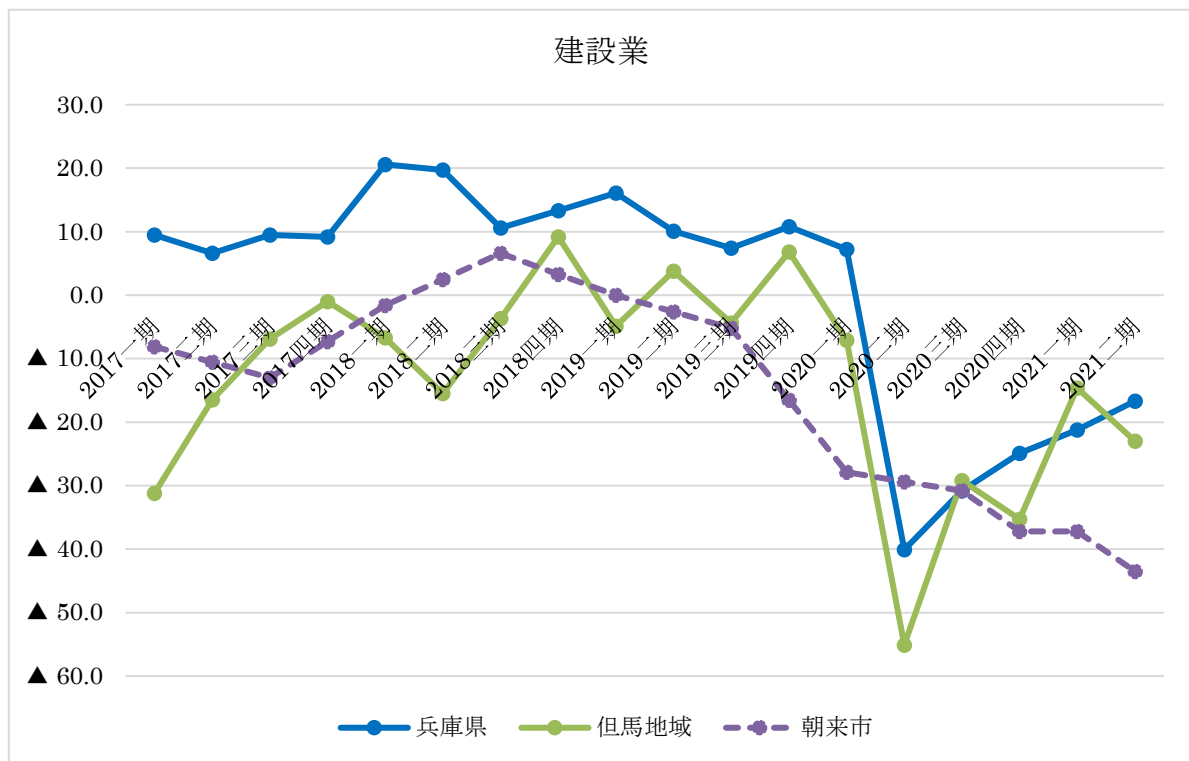
	件数	構成比
好転	1件	4.3%
不変	11件	47.8%
悪化	11件	47.8%

「不変」または「悪化」と回答した事業者で半々となっており、景気判断値は厳しい状況が続いています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲16.7ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲23.0ポイント
朝来市	▲43.5ポイント

朝来地域のD. I. 値が兵庫県全域、但馬地域と比較し低い結果となっています。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市は2020年4期(9～12月)、2021年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域において、2020年四期以降はD. I. 値は上昇傾向にありますが、朝来市においては減少を見せています。市内における工事が感染症の影響で停滞しており、夏季以降に稼働する事業所が多いと予想しています。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2019 年下半期	2020 年上半期	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期
1 位	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難	熟練技術者の確保難
2 位	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	従業員の確保難
3 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	人件費以外の経費の増加	材料等仕入単価の上昇

「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」が 1 位と 2 位にあがっており、続いて「材料等仕入単価の上昇」が再度上位に挙がっています。木材価格上昇の影響が現在も続いており、また巣ごもり需要により輸送物増加とコンテナ不足により、材料輸入の停滞などが問題となっています。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	9 件
現状維持	11 件
事業承継への取り組み	5 件
廃業を検討	0 件

※複数回答あり

・廃業を検討（0 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	0 件

②製造業（有効調査書数：47件）

○昨年（4～6月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（内1件は未回答）

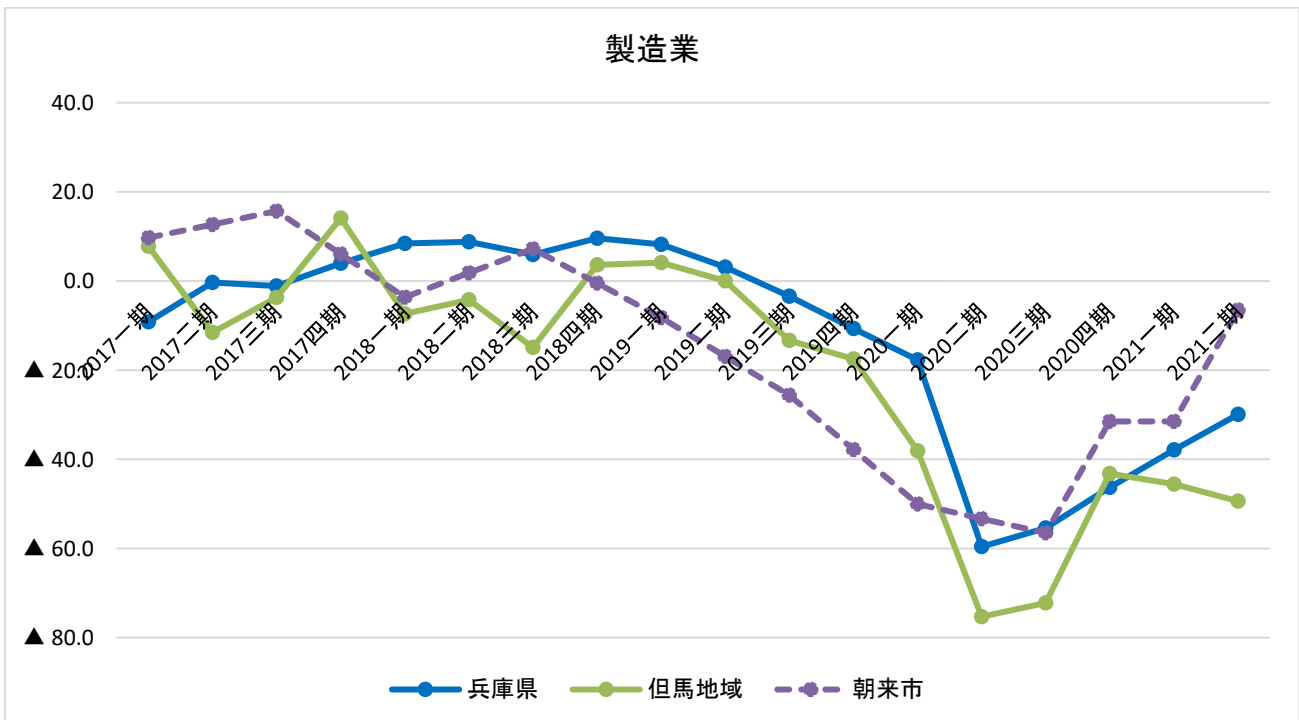
	件数	構成比
好転	13件	28.2%
不変	17件	37.0%
悪化	16件	34.8%

回答が分かれており、新型コロナウイルス感染症が影響し始めてから1年立ち、改善した企業、騒動時と変化が無い企業、悪化した企業と明暗が分かれています。

地域	D. I.
兵庫県 （みなと銀行）	▲29.9ポイント
但馬地域 （但馬信用金庫）	▲49.4ポイント
朝来市	▲6.5ポイント

朝来市内のD. I. 値が最も高い得点となりました。一方で同じ製造業でも、業種によって差も大きい結果となっています。（9ページ参照）

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市は2020年4期（9～12月）、2021年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域、朝来市と兵庫県の業況 D. I. は改善傾向、但馬地域全域は減少の結果となっています。前年度の4月～6月は最初の緊急事態宣言が発令された時期であり、多くの製造業で受注減が発生しました。朝来市の調査結果ではD. I. 値は改善傾向ですが、「不変」が多い＝コロナ禍当初と変わらない、とも捉えられ、依然として厳しい状況が続いています。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2019 年下半期	2020 年上半期	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	需要の停滞	需要の停滞	材料等仕入単価の上昇
2 位	従業員の確保難	材料等仕入単価の上昇	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難
3 位	需要の停滞	人件費以外の経費の増加	材料等仕入単価の上昇	需要の停滞

材料仕入単価の上昇が 1 位となっており、2021 年度は世界的なアルミニウム需要が上がったことや輸送コストなどが影響していると予想しています。「需要の停滞」が上位にあることより、アルミ・金属需要が高まる一方、食料品関係は低迷が続き、業種間の差も大きいと思われま

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業 5 年未満	2 件
売上・事業拡大	23 件
現状維持	21 件
事業承継への取り組み	11 件
廃業を検討	2 件

※複数回答あり

・廃業を検討（2 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	2 件

○製造業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂けた業種を3件掲載します。

・金属製品に関する製造業（金属製品、金属加工、部品製造など）

	件数	構成比
好転	6件	42.8%
不変	6件	42.8%
悪化	2件	14.3%
D.I.値	—	28.5ポイント

・繊維製品等の製造業

	件数	構成比
好転	3件	37.5%
不変	3件	37.5%
悪化	2件	25.0%
D.I.値	—	12.5ポイント

・食品関連の製造業（食料品、飲料、調味料など）

	件数	構成比
好転	3件	25.0%
不変	3件	25.0%
悪化	6件	50.0%
D.I.値	—	▲25.0ポイント

製造業の中でも、複数回答を頂けた業種のD.I.値を算出いたしました。上記にある通り、金属製品、繊維製品といった工業製品に携わる事業所は好転または不変の傾向となっており、去年から大きな落ちこみは見せていません。

一方で食品に関わる製造業は悪化を見せており、緊急事態宣言による飲食店への自粛要請の影響を受けていると考えられます。

③小売業（有効調査書数：46件）

○昨年（4～6月）と比較して、今期の業況はいかがですか？

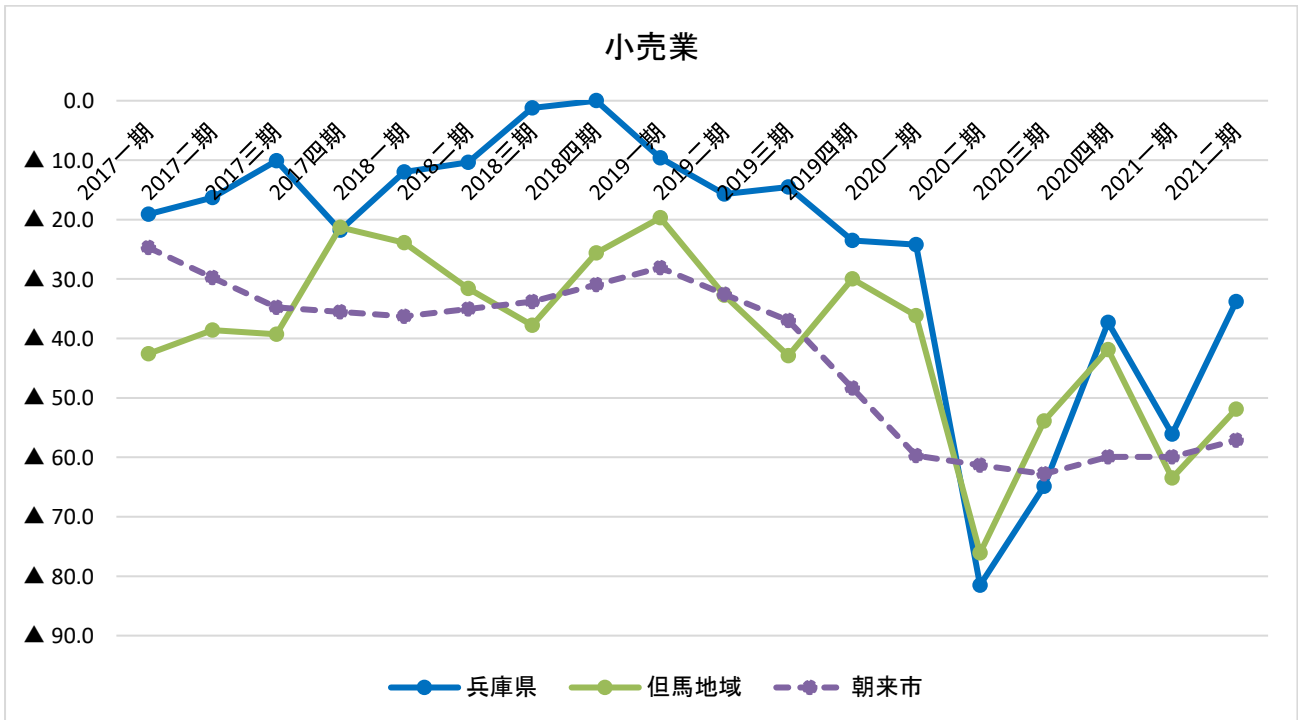
	件数	構成比
好転	3件	6.5%
不変	15件	32.6%
悪化	28件	60.9%

好転したという小売業者は少なく、不変または悪化の回答が9割以上を占めています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲33.8ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲51.9ポイント
朝来市	▲54.3ポイント

但馬地域、朝来市内の D. I. 値が低く、苦境に立たされている小売業が多いと考えられます。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市は2020年4期（9～12月）、2021年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

県下全域の D. I. 値について今期は改善しており、但馬地域では改善しているものの、兵庫県全域と比べ低い、という結果となり、朝来市と近い数値です。朝来市における D. I. 値は前年度と大きな変化を見せておらず、悪化が継続している状況と考えられます。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2019 年下半期	2020 年上半期	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応
2 位	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞
3 位	従業員の確保難	材料等仕入単価の 上昇	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化

抱える課題の順位について、前回調査と同様の結果となりました。コロナ禍を通して消費者の趣向や求める商品は変化しており、それを掴むことが重要となっています。店舗の老朽化が目立ってきたのは、感染症により今までとは異なる内装、空間が必要となってきたことも関係していると考えられます。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	15 件
現状維持	24 件
事業承継への取り組み	11 件
廃業を検討	9 件

※複数回答あり

・廃業を検討（9 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	5 件
事業譲渡なども、全く考えていない	4 件

○小売・卸売業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂けた業種を3件掲載します。

・織物・衣服・身の回りの品小売業

	件数	構成比
好転	1件	7.7
不変	4件	30.8%
悪化	8件	61.5%
D.I.値	—	▲53.8ポイント

・機器、金物等の小売・卸売業

	件数	構成比
好転	1件	6.6%
不変	7件	46.7%
悪化	7件	46.7%
D.I.値	—	▲40.1ポイント

・飲食料品に係る小売・卸売業

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	2件	14.3%
悪化	12件	85.7%
D.I.値	—	▲85.7ポイント

Go to トラベル事業と重なり上向きとなった前回調査（R2.7～R2.9）と変わり、小売業・卸売業のD.I.値の減少が大きく、サービス業と逆転しています。

各小売・卸売の中でも飲食料品に係る部門の落ち込みが最も大きく、食品に係る製造業と同様、緊急事態宣言における飲食店の時短営業、外出自粛の影響を最も受けていると考えられます。

④サービス業（有効調査書数：80件）

○昨年(4～6月)と比較して、今期の業況はいかがですか？（内2件は未回答）

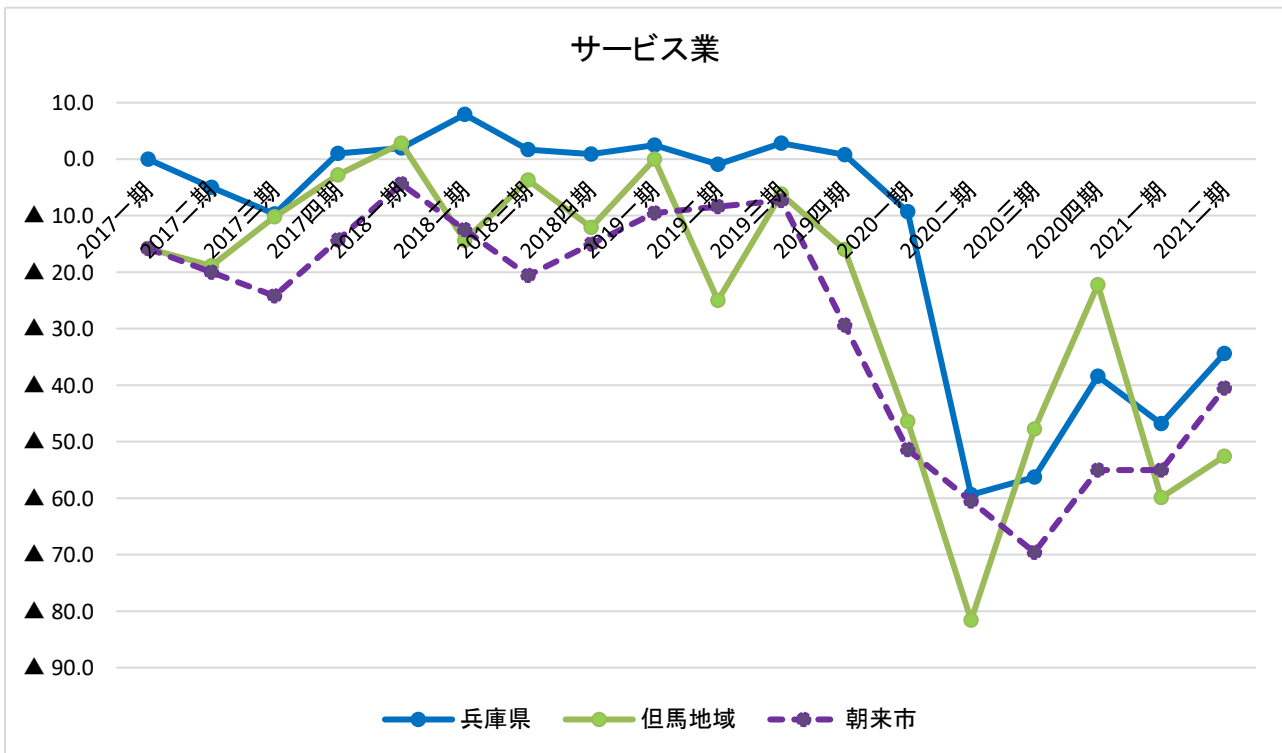
	件数	構成比
好転	12件	15.4%
不変	21件	26.9%
悪化	45件	57.7%

「好転」の回答割合は若干増えたものの、「不変」「悪化」の回答が依然として多く、コロナ禍の影響から抜け出せない状況です。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲34.4ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲52.6ポイント
朝来市	▲42.3ポイント

小売業同様に D. I. 値が全体的に低くなっていますが、但馬地域の低下が朝来市を上回っています。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市は2020年4期(9～12月)、2021年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域は改善傾向、但馬地域は前期より良くなっているものの、Go to トラベル事業が実施されていた2020年7月～12月との差は大きくなっています。朝来地域では最も低かった2020年7月～9月期と比較しD. I. 値は改善したものの、業況アンケートにある通り厳しい回答も多い状況です。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2019 年下半期	2020 年上半期	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	店舗施設の老朽化
2 位	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	需要の停滞	需要の停滞
3 位	需要の停滞	需要の停滞	店舗施設の老朽化	材料仕入単価 の上昇

需要停滞は根強い課題ですが、新しく「店舗施設の老朽化」、「材料仕入単価の上昇」が上
がっており、経費の抑制とコロナ禍に対応した店・環境が求められています。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業 5 年未満	12 件
売上・事業拡大	26 件
現状維持	32 件
事業承継への取り組み	13 件
廃業を検討	5 件

※複数回答あり

・廃業を検討（5 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2 件
事業譲渡なども、全く考えていない	3 件

○サービス業種ごとのD.I.値について

※飲食店、宿泊業、また複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・飲食店

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	6件	23.1%
悪化	20件	76.9%
D.I.値	—	▲76.9ポイント

・宿泊業

	件数	構成比
好転	2件	33.3%
不変	1件	16.7%
悪化	3件	50.7%
D.I.値	—	▲16.7ポイント

・洗濯・理容・美容・浴場業

	件数	構成比
好転	1件	8.3%
不変	4件	33.3%
悪化	7件	58.3%
D.I.値	—	▲50.0ポイント

・自動車整備サービス、運送業など

	件数	構成比
好転	2件	14.3%
不変	3件	21.4%
悪化	9件	64.3%
D.I.値	—	▲50.0ポイント

小売業同様、多くの業種のD.I.値がマイナスとなっています。前年同時期（R2.4～6）は初めて緊急事態宣言が発令された時期ですが、多くのサービス業が「悪化」と回答しており、1回目の緊急事態宣言発令時より経営が苦しい状況と考えられます。

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	0	0	0	0	0
30代	0	1	1	4	6
40代	5	8	4	11	28
50代	11	14	14	19	58
60代	4	15	11	20	50
70代以上	3	9	19	23	54

○朝来市商工会に望むことについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
経営全般への相談	5	4	8	15	32
補助金・助成金の相談	14	27	25	50	116
各種認定について	4	6	7	7	24
IT化について	11	2	7	7	27
税務・労務について	4	3	11	14	32
特に相談等は無し	4	10	11	12	37

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	1	2	1	12	16
売上・事業拡大	9	23	15	26	73
現状維持	11	21	24	32	88
事業承継への取り組み	5	11	11	13	40
廃業検討	0	2	9	5	16

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	0	0	5	2	7
事業譲渡なども、全く考えていない	0	2	4	3	9

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	3	5	16	27	51
1人～5人	12	16	23	31	82
6人～10人	2	5	2	6	15
11人～20人	1	3	1	4	9
21人以上	4	16	2	4	26
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	10	15	7	11	43
適正人数である	9	20	15	30	74
雇い入れが過剰である	0	1	1	0	2
雇用していない・しない	2	8	17	24	51
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	0	0

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	9	14	22	20	65
1人～5人	10	18	13	36	77
6人～10人	0	3	2	7	12
11人～20人	1	6	2	3	12
21人以上	0	3	1	1	5
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	4	10	3	9	26
適正人数である	9	26	17	37	89
雇い入れが過剰である	1	0	0	1	2
雇用していない・しない	5	8	18	17	48
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	0	0

○令和2年7～9月と前年同期(令和元年7～9月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	1	13	3	12	29
	同じ	11	17	15	21	64
	悪化	11	16	31	42	100
売上	増加	3	0	0	1	4
	同じ	10	5	3	9	27
	減少	9	1	0	4	14
販売価格	増加	3	0	0	1	4
	同じ	13	3	2	0	18
	減少	5	3	1	2	11
仕入価格	増加	5	0	0	0	5
	同じ	10	2	0	0	12
	減少	6	4	1	0	11
資金繰り	好転	1	0	0	0	1
	同じ	17	0	0	0	17
	悪化	3	1	0	0	4

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	0	1	10	4	15
新規参入業者の増加	1	1	3	8	13
利用者ニーズの変化への対応	4	9	26	18	57
店舗施設の老朽化	2	9	17	28	56
人件費の増加	5	9	3	10	27
人件費以外の経費の増加	4	9	5	16	34
利用料金の低下・上昇難	0	2	5	17	24
材料等仕入単価の上昇	8	21	6	26	61
金利負担の増加	1	1	0	1	3
事業資金の借入難	1	0	1	5	7
従業員の確保難	8	14	6	12	40
熟練技術者の確保難	12	7	4	6	29
需要の停滞	7	10	25	26	68
その他	2	8	7	8	25

(参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：shokokai@asago.org